

令和4年度地域公共交通事業の収支状況等

1. 地域公共交通事業の収支状況について

(1) 地域コミュニティ交通

ア. こいこいバス（幹線交通）

| 路線 | 利用者数 (人) | 経常経費 (円) | 経常収益 (円) | 収支差 (円) | 収支率 (%) |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| こいこいバス | 114,351 | 33,507,100 | 19,872,452 | △13,634,648 | 59.3 |

- ・今年度は、前年まで影響を受けていた新型コロナウイルス感染症の影響は回復傾向で、利用者数は、すべての月において回復しており、前年と比較して約13%増加しました。
- ・経常経費は前年と比較して約3%増加し、経常収益は前年と比較して約4.7%減少したため、収支率は約4.8%の減少でした。
- ・利用者数が増えたにもかかわらず収益が減少した理由は、大型商業施設の回数券の大口購入の減少によるものでした。

イ. 支線交通

| 路線 | 利用者数 (人) | 経常経費 (円) | 経常収益 (円) | 収支差 (円) | 収支率 (%) |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 三ツ石地区 乗合タクシー | 1,053 | 845,600 | 239,312 | △606,288 | 28.3 |
| ひまわり タクシー | 834 | 632,180 | 172,626 | △459,554 | 27.3 |
| 湯舟のりあい タクシー | 317 | 271,040 | 72,040 | △199,000 | 26.6 |
| 栄ぐるりん タクシー | 551 | 583,750 | 137,750 | △446,000 | 23.6 |
| あじさい タクシー | 444 | 372,960 | 100,896 | △272,064 | 27.0 |
| 合計 | 3,199 | 2,705,530 | 722,624 | △1,982,906 | 26.7 |

ア.イ.の合計利用者数 117,550人

(2) 路線バス（廃止路線代替バス）

| 路線 | 利用者数 (人) | 経常経費 (円) | 経常収益 (円) | 収支差 (円) | 収支率 (%) |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 大竹・栗谷線 | 3,630 | 16,316,000 | 1,740,790 | △14,575,210 | 10.7 |
| 坂上線 | 12,694 | 19,337,168 | 4,279,490 | △15,057,678 | 22.1 |
| 合計 | 16,324 | 35,653,168 | 6,020,280 | △29,632,888 | 16.9 |

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響の回復傾向が見られる路線もあり、年間の利用者数は前年と比較して、大竹・栗谷線は約17.7%増加、坂上線は約3.2%減少しました。
- ・路線バスの経常収益は前年度と比較して約16.3%増加、経常経費は前年と比較して約2.2%増加したため、収支率が約2.1%上がりました。

目標2 持続可能な地域公共交通サービスが暮らしを支えるまちの実現

評価指標 2 公共交通の利用者数（タクシー補助制度，航路を除く）
《大竹市地域公共交通網形成計画 P51》

| | 路線バス | 地域コミュニティ交通 |
|---------------|------------|-------------|
| 基準値（平成 29 年度） | 24,167 人 | 155,327 人 |
| 令和 4 年度実績値 | 16,324 人 | 114,351 人 |
| 目標値（令和 4 年度） | 22,000 人以上 | 155,000 人以上 |

評価指標 3 公共交通の運賃収支率（タクシー補助制度，航路を除く）
《大竹市地域公共交通網形成計画 P52》

| | |
|---------------|-------|
| 基準値（平成 29 年度） | 57.1% |
| 令和 4 年度実績値 | 37.0% |
| 目標値（令和 4 年度） | 50%以上 |

【今後の方針】

路線バス及び地域コミュニティ交通については、運行サービス内容が利用実態や利用ニーズ等に適していない場合は、効率化や利便性向上を図るため、交通事業者と市が協議し、必要な改善について検討、実施します。

2. 地域公共交通事業の利用促進施策の推進について

(1) 市広報を活用した地域公共交通に係る情報発信を実施

| | |
|--------------|--|
| 令和 4 年 6 月号 | ・支線交通の令和 3 年度運営状況 |
| 令和 4 年 7 月号 | ・市内のバス 台風・荒天時や事故・災害時は運休・運行ルート |
| 令和 4 年 8 月号 | ・阿多田～小方航路 新フェリーの船名募集 |
| 令和 4 年 11 月号 | ・こいこいバス「バスエコファミリーキャンペーン」に参加しよう |
| 令和 4 年 12 月号 | ・市内のバス 年末年始のバス運行時刻変更 |
| 令和 5 年 3 月号 | ・順風満帆願い命名 悠風（はるかぜ） 4 月就航の阿多田～小方航路の新フェリー |

(2) モビリティ・マネジメント※の一環として、バス（こいこいバス）に乗るきっかけづくりを目的としたバスエコファミリーを実施

| | | | |
|-----|---|----|-----|
| 実施日 | 11月3日(祝)、5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、23日(祝)、26日(土)、27日(日) | | |
| 対象 | 大人(有料) 同伴の小学生の運賃が無料 [大人1人につき小学生2人まで] | 実績 | 82人 |

※マイカーに過度に依存した生活から、適度に賢く公共交通を活用する暮らしへ、ライフスタイルや意識の転換を促進する働きかけのこと。

目標3 地域公共交通を利用・応援する市民意識が高いまちの実現

| | |
|-------|--|
| 評価指標4 | 市広報を活用した情報発信回数 《大竹市地域公共交通網形成計画 P53》 |
|-------|--|

| | |
|--------------|------------------|
| 基準値(平成30年度) | 5回/9か月(4月号~12月号) |
| 令和4年度実績値 | 6回 |
| 目標値(令和元~5年度) | 毎年6回以上/12か月 |

| | |
|-------|---|
| 評価指標5 | バスエコファミリーキャンペーン利用者数 《大竹市地域公共交通網形成計画 P53》 |
|-------|---|

| | |
|-------------------|--------|
| 基準値(平成26~30年の平均値) | 100.8人 |
| 令和4年度実績値 | 82人 |
| 目標値(令和元~5年の平均値) | 110人以上 |

【今後の方針】

公共交通の利用を促進するための情報発信、公共交通の利用意識を高める取り組みを推進します。

3. 地域公共交通の待合い環境などの改善について

(1) バス停留所の安全性確保対策について

令和5年3月に中国運輸局広島運輸支局の主催で、運行事業者、警察署、道路管理者（広島県、大竹市、廿日市市）による大竹廿日市地域のバス停留所の安全性確保対策合同検討会が実施され、今後の対策方針について協議しました。

本市では、安全性確保対策が可能なバス停留所について、令和5年度に対策を実施することとしました。（バス停留所安全性確保対策実施状況一覧表は別紙4のとおり）

(2) 大竹駅周辺整備事業について

大竹市の玄関口であるJR大竹駅を橋上化し、東西地区を自由通路で結び、東口及び西口広場を一体的に整備・バリアフリー化することで、駅へのアクセスや駅周辺の回遊性の向上を図るとともに、駅周辺の円滑な自動車アクセスと交通拠点・結束点としての機能強化を図っています。（事業内容は別紙5のとおり）

(3) 坂上線バス停留所の標識の修繕について

傷んでいた7カ所のバス停留所の標識を修繕し、利用者の視認性向上に努めました。
（下安条、防鹿、薬師寺（大竹駅行き）、大竹上市、早瀬が迫、前淵渡、小川津橋）

施工前



施工後



【今後の方針】

特に安全性の向上に重点を置き、待合い環境の整備を推進します。

公共交通（バス）の標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）におけるバスロケーションシステム（動的情報）は、引き続き検討します。